

④国際ロータリー第 2670 地区ロータリー財団委員会  
地区補助金報告書 【2018-19 年度】



提出日：2019年 6月 28日

1 クラブ名：高松グリーン...ロータリークラブ

2 プロジェクト名：...骨髄バンク応援団 「命の授業 ～救える命なら助け隊～」...プロジェクト

3 プロジェクトの概要

①このプロジェクトで何が、いつ、どこで実施されたかを簡潔に説明してください。

(1) 2018年10月3日、10月18日、2019年1月9日、1月11日、4月24日 計5回

香川大学（工学部、農学部キャンパスなど）にて 学生及び職員への 献血（日本赤十字社）及びドナー登録（香川・骨髄バンクを支援する会）の促進、啓蒙の支援活動（ブースの設営支援、構内での実施告知、説明など）

(2) 2019年2月2日 高松市丸亀町商店街にて 高松市民献血の日及び骨髄ドナー普及キャンペーンと連動して 啓蒙活動（式典イベントへ参加、街頭で普及啓発品の配布及び呼び掛け活動）

(3) 2019年2月16、17日 献血ルームオリーブ及び商店街の街頭にて 骨髄バンク、移植説明会への参加、ドナー登録への資料配付と呼び掛け（池江選手のニュースに際して急遽実施）

(4) 2019年3月11日 高松中央高等学校にて「命の授業」（1年生+2年生≒600名に対し 香川・骨髄バンク 副代表 後藤千英氏 講演（命の授業 命をかけて手に入れた宝物 血液がんと骨髄移植 day2473）開催

(5) 2019年5月14日、5月28日、6月27日 に 香川大学医学部附属病院、四国こどもとおとなの医療センター 香川県立中央病院 にて 院内学級及び小児科などの疾患による長期入院中の子供たちへ 書籍の寄贈

(6) 2019年6月13日 高松北高等学校にて「命の授業」（2年生≒280名に対し 香川・骨髄バンク 副代表 後藤千英氏 講演（命の授業 命をかけて手に入れた宝物 血液がんと骨髄移植 day2550）開催

②このプロジェクトの恩恵を受けた人々の数は何名ですか。 延べ1000名（下記の通り直接人数に限定し算出）

(1) 実施時の献血、ドナー登録者数≒延べ200名

(2) 実施時の配布数≒400名

(3) 実施時の説明会参加及びドナー登録数≒80名

(4) 実施時の出席者数≒600名

(5) 実施先の子供の人数≒25名（詳細不明）

(6) 実施時の出席者数≒280名

③プロジェクトの受益者は誰ですか。またどのような恩恵を受けましたか。プロジェクトはどのようなニーズに答えましたか。

**受益者** (1)～(6) 実施分類で個々の受益者を特定する事は難しいので、直接+間接的な受益者像を下記に示します。

1. 白血病などの血液疾患で闘病中の患者さん及びご家族にとって治療の機会を多く提供できると共に非常に心強い支援となった。

2. 「命の授業」を受けた高校生は直接的に白血病、骨髄移植、ドナー制度などの知識を得ることができ、また、命の大切さ、社会において支え合う必要性、精神などの醸成に大きく効果があった。（アンケートで検証）

3. 街頭活動などを行ったことから、本プロジェクトが地域社会への直接的な啓蒙となり、また、ロータリーの奉仕の理念を広くアピールすることにつながった。新聞、TV報道等に多々紹介された。

4. 端的にプロジェクト効果検証の指標と出来るのは地域のドナー登録者数であるが、今年度の「命の授業」の対象が高校生（ドナー登録は18歳以上なので）であり、将来での効果発揮となると思われる。（アンケートのコメントで「骨髄提供への不安解消」「将来ドナー登録したい」「登録する場所、方法が判った」多くあり）

5. 治療中の子供たちが寄贈した本を読む（見る）ことで楽しい時間を過ごし、様々なことに興味と挑戦する気持ちを持ち、治療にも前向きに取り組んでもらえることを期待している。

④このプロジェクトに何名のロータリアンが参加しましたか。 延べ136名（下記を累計）

- (1) 実施（5回）時の参加数＝延べ40名                      (2) 準備（例会出席者数30名）＋実施時15名＝45名  
(3) 実施時（2日間）の参加数＝16名                      (4) 実施時の出席者数＝12名  
(5) 実施（3回）の参加数＝15名                      (6) 実施時の出席者数＝8名

⑤これらのロータリアンは何を行いましたか。プロジェクトへの財政的支援を除き、その具体例を少なくとも2つ挙げてください。

- (1) では、大学キャンパスなどにて、学生及び職員への、献血（日本赤十字社）及びドナー登録（香川・骨髄バンクを支援する会）の促進、啓蒙の支援活動（ブースの設営支援、構内での実施告知、説明など）  
(2) では、事前に普及啓発品の整備を例会出席者で行った。また、キャンペーン当日は式典への参加。商店街街頭で普及啓発品の配布及び呼び掛け活動  
(3) では、献血ルーム、オリーブ及び商店街の街頭にて、骨髄バンク、移植説明会への参加、ドナー登録への資料配布と呼び掛け  
(4) では、「命の授業」開催趣旨説明、開催調整、当日の設営、報道対応、アンケート分析とフィードバック  
(5) では、書籍の選定、寄贈先への趣旨説明と折衝、書籍へのRC寄贈表示の貼付け、寄贈式の開催、出席  
(6) では、「命の授業」開催趣旨説明、開催調整、当日の設営、報道対応、アンケート分析とフィードバック

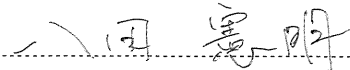
⑥協力団体が関与している場合、その団体の役割は何でしたか。

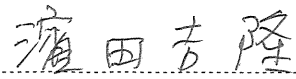
- かがわ・骨髄バンクを応援する会：白血病、骨髄移植、骨髄バンク等に関する情報提供、クラブ例会で左記情報を客話、「命の授業」講師の派遣、クラブと各関係団体との調整  
特定営利法人 全国骨髄バンク連絡協議会：白血病、骨髄移植、骨髄バンク等に関する情報提供  
公益社団法人 日本骨髄バンク：白血病、骨髄移植、骨髄バンク等に関する情報提供及び啓発資料の提供  
高松市保健所保健対策課：「高松市民献血の日」式典企画設営、啓発品の編成、街頭での活動の補助  
日本赤十字社香川赤十字血液センター：大学及びオリーブルームでの献血、ドナー登録会場の確保と情報提供  
学校法人 高松中央高等学校：「命の授業」を正規の授業に採用し、会場の提供。生徒たちへの出席促進と事前の資料配布、主旨説明、アンケート回収  
香川県立高松北高等学校：「命の授業」を正規の授業に採用し、会場の提供。生徒たちへの出席促進と事前の資料配布、主旨説明、アンケート回収  
三木町教育委員会及び三木町立平井小学校：院内学級（ひかり学級）への書籍寄贈窓口と子供たちへの提供  
独立行政法人国立病院機構 四国こどもとおとなの医療センター：入院、通院中の子供たちへの書籍の提供  
香川県立中央病院：入院、通院中の子供たちへの書籍の提供

#### 4 証明の署名

本プロジェクトに関与する全てのロータリークラブは、下記に署名することにより、地区ロータリー財団委員会に対しプロジェクトの活動内容に責任を持ち、報告する義務があります。地区補助金報告書並びに財務報告書の全ての記載事項が真実であり、正確であることを確認することになります。

高松グリーンロータリークラブ会長並びに会長エレクトとして、私達は、ここに当クラブがクラブの奉仕活動として本プログラムを実施したことを確認いたします。

2018-19 年度会長 八田 憲明 署名  2019年 6月 28日

2019-20 年度会長 濱田 吉隆 署名  2019年 6月 28日

地区補助金報告書

5 写真貼り付け欄



(1)香川大学(工学部、農学部)にて 献血及びドナー登録の啓蒙、促進の支援活動



(1)香川大学(工学部、農学部)にて 献血及びドナー登録の啓蒙、促進の支援活動



(1)香川大学(工学部、農学部)にて 献血及びドナー登録の啓蒙、促進の支援活動



(1)献血及びドナー登録の啓蒙、促進の支援活動用の啓発促進品



(2)高松市民献血の日及びドナー普及キャンペーンでの街頭呼び掛け活動

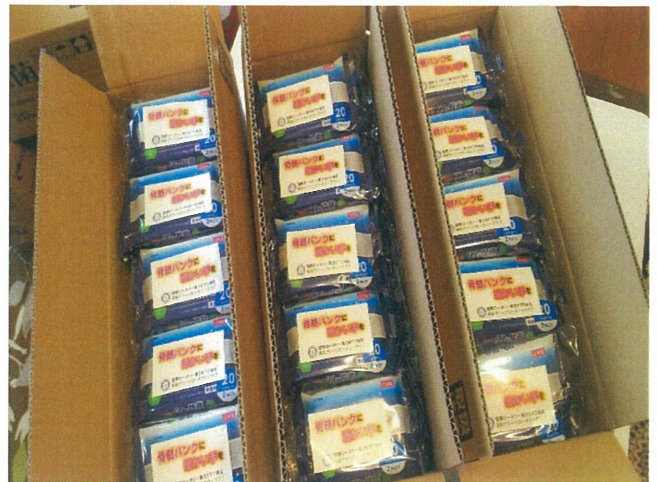


(2)高松市民献血の日及びドナー普及キャンペーンの普及啓発促進品



(3)献血ルーム オリーブ及び商店街の街頭にて  
骨髄バンク、ドナー登録への資料配布と呼びかけ  
活動

(3)の活動が 2月17日 新聞に 掲載  
(記事は別ページに添付)



(3)骨髄バンク、ドナー登録への啓発促進品



(4)高松中央高等学校 「命の授業」 全景

(4)の活動が 3月12日 新聞に 掲載  
(記事は別ページに添付)



(4)高松中央高等学校 「命の授業」  
講師 かがわ・骨髄バンクを応援する会  
後藤 千英 氏



(5)香川大学医学部附属病院  
院内学級(ひかり学級)へ 書籍寄贈



(5)香川大学医学部附属病院  
院内学級(ひかり学級)へ 書籍寄贈



(5)四国子どもとおとなの医療センター 書籍寄贈



(5)四国子どもとおとなの医療センター 書籍寄贈



(5)香川県立中央病院 書籍寄贈

取材社 四国新聞社、西日本放送、KSB瀬戸内海放送、ケーブルメディア四国





(6)高松北高等学校「命の授業」全景



(6) 高松北高等学校「命の授業」  
講師 かがわ・骨髄バンクを応援する会  
後藤 千英 氏



(6)高松北高等学校「命の授業」  
参加者 RC、かがわ・骨髄バンクを応援する会  
日本赤十字社香川県赤十字血液センター



らが都の調査に証言した

### 担当医ら都調査に証言

一方、発言の前後に女性「が「やっぱり(透析は)やりたくない」との意向も示したとされ、病院側や担当医は「(中止)撤回の明確な意思表示はなかった」と

8月9日、他の医療機関からの紹介で同病院を訪れた。病院側が透析の中止も含めた選択肢を提示すると、女性は中止を選び、夫も同席する場で意思確認書に署名した。

言もあるという。こうした経緯から、病院側は意思確認書を撤回するほどの意思表示はなかったと判断しているとみられる。

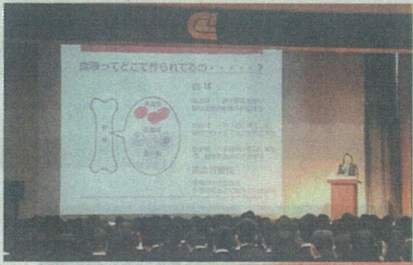
また、女性が「また透析しよつかな」との発言をした後に、病院側が透析を再開するか、苦しさを緩和す

負った事故で、自動車運転過失傷害罪で在宅起訴された千歳市の運転手高橋雅彦(60)の判決公判が11日、札幌地裁室蘭支部であった。五十嵐浩介裁判長は「車体部品の破損が事故原因となった可能性を指摘し「過失は認められない」として無罪(求刑禁錮10月)

## 骨髄バンクに理解を

### 高松中央高で講演会 移植経験者、協力呼び掛け

競泳の池江璃花子選手(18)の白血病公表で骨髄バンクへの関心が高まる中、高松市松島町の高松中央高(香川泰造校長)で11日、骨髄移植と骨髄バンクをテーマにした講演会があった。骨髄移植を経験してい



骨髄バンクなどについて理解を深めた講演会。高松市松島町、高松中央高

る「かがわ・骨髄バンクを応援する会」副代表の後藤千英さん(17)が講演し、1、2年生約600人に理解と協力を呼び掛けた。

講演会は、若者に骨髄移植に関する知識を深めてもらおうと、高松グリーンロータリークラブ(八田憲明会長)などが開いた。

後藤さんは高校2年生の時に骨髄異形成症候群と診断され、「突然のことで、部活のチームメイトにどう説明しようかと悩んだ」と振り返った。

その後は経過観察しながら過ごしていたが、2009年に不調を感じて改めて受診。抗がん剤治療することになった。「絶対死にたくない、生きたい」と12年(17)は「当たり前と思って

に骨髄移植を受け、翌年に会社員として復帰した。後藤さんは、家族や友人らが強い支えとなったことに触れながら「日常のありがたさをかみしめて生きてほしい。ぜひ献血や骨髄バンクに協力を」と訴えた。

2年生の多丸木有生さんが白血病を公表した同月には150人に増加した。

徳島県立博物館(徳島市)は11日、同県勝浦町の白亜紀前期(約1億3千万年前)の地層から恐竜「獣脚類」の左すねの骨の写真と歯の化石が見つかったと明らかにした。獣脚類はほとんどが肉食恐竜といひ、獣脚類としては国内最古級で、中西国で見つかるのは初めて。

## 脚類恐竜の化石発見

### 徳島 すねの骨など国内最古級

すねの骨は長さ約19・5センチ、幅約3センチ。先が5センチほど欠けているとみられる。同町ではこれまで草食恐竜の鳥脚類や竜脚類の化石が見つかっており、県立博物館が中心となって昨年11、12月に発掘調



の化石が見つかった。すねの骨は福井県立恐竜博物館でCTスキャンなどを使って鑑定し、獣脚類と特定。同館の東洋一特別館長は「すねの骨の長さから推測すると、体長2メートル程度の小型の恐竜ではないか」と話している。獣脚類の歯は昨年春に見つかったが鑑定の結果、今年2月に特定できた。

東特別館長は「今後の発掘で化石や足跡が見つかれば、恐竜の移動の道筋が見えてくる」と期待を寄せた。今回見

(4)高松中央高等学校での「命の授業」開催についての

新聞掲載記事



# 感謝状

高松グリーン

ロータリークラブ様

貴クラブは入院中及び  
通院中の子供達への  
学習教育支援のため  
県立中央病院に多くの  
書籍を寄贈されましたので  
深く感謝の意を表します

令和元年六月二十七日

香川県立中央病院

院長 河内正光



(5)香川県立中央病院 書籍寄贈に対する 感謝状